

平成29年1月19日
経理部会計課

独立行政法人国際交流基金 契約監視委員会(平成28年度第2回)

議 事 要 旨

1. 日時: 平成28年12月22日(木)14:00-16:00
2. 場所: 独立行政法人国際交流基金本部9階第2セミナー室
3. 出席者:
 - (1) 委員
渡邊一弘委員長、宮本和之委員、山本裕子委員、鴨志田文彦委員
 - (2) 外務省
大臣官房広報文化外交戦略課 橋本博史外務事務官
 - (3) 国際交流基金
安藤理事長、櫻井理事、貴島総務部長、古屋経理部長、清水監査室長、平林会計課長、審議案件担当者
4. 主要議事:
 - (1) 再委託案件、一者応札・応募案件について(報告)
 - (2) 個別案件(全6件)(審議)
5. 主要議事概要:
 - (1) 再委託案件、一者応札・応募案件について(報告)
平成28年6月16日から10月15日の間に締結された契約のうち、再委託案件(2件)及び一者応札・応募案件(3件)について事務局より報告。
委員: 日本語能力試験聴解CD及びカセットテープ作成業務委託契約について、50%を超える高い再委託率は何故か。
基金: 再委託業務はCDの複製である。本件は複数年契約で、契約の区切り上、当該契約期間中に2回のCD複製業務が発生し、他方で、他の作業費が少なかったため、相対的に再委託率が高くなった。
基金: 一者応札理由に関し、業者に対するアンケートにおいて、事業規模が小さく、採算が取れない、公告・履行期間が短い、繁忙期のため対応できない、欧州

域内のテロの影響などが挙げられた。

委員：公告期間については、基金側で調整可能な事柄である。競争性を高めるために、前広に対応いただきたい。

(2) 個別案件の審議(案件一覧は別紙の通り)

ア. 平成27年度「専門日本語研修(外交官・公務員)」にかかる国際航空券手配及び
接遇業務委託契約(平成28年度分接遇業務)

基金：関西国際センターは海外の日本語学習者向けに訪日研修を実施しており、年間20件程の研修に係る国際航空券手配及び地方視察時の国内接遇業務を一括して委託している。平成27・28年度は、一般競争入札・総合評価(除算方式)で日本旅行が落札した。事前書類審査では、過去実績に基づいた指定仕様に対する旅程案、宿泊施設等の単価を提出させ、事前評価表に基づいて評価を行った。

審議対象案件は新幹線を利用する地方研修の接遇業務で、予定価格は既定額の新幹線代及び包括契約時に定めた単価表に基づき作成したため、契約金額との差異が僅少となった。差は有料道路代、駐車場代である。

委員：予定価格と契約金額の差が僅少となった理由は了解した。

入札説明会には7者が参加、うち4者について書類審査を行っているが、残りの3者はどうしたのか。

基金：締切までに書類が提出されなかった。書類審査の不合格ではない。

イ. 平成28年度中央アジア大型文化事業「ウズベキスタン和太鼓公演」国際輸送契約

基金：二重内陸国という立地及び載せ替えによる遅延・紛失を避けるため、直行便での航空輸送を決定し、唯一の直行便であるウズベキスタン航空が指定する貨物輸送業者と随意契約を締結した。

相手方が唯一無二で、他社から見積もりを徴取することができなかったため、契約額を予定価格とした。他方、契約に当たっては交渉を重ね、正規運賃である貨物カーゴタリフ代に比して、半額以下の割引を得ることができた。

委員：相手方はどのような業者か。

基金：輸送業者である。美術品輸送の過去実績もある。

委員：大幅な割引を得たとのことだが、他国に比べ、正規料金がウズベキスタンだけ高額ということはないか。

基金：そのようなことはない。カーゴタリフ代は地域に応じて概ね同じ額である。

委員：貨物の取扱い業者を航空会社が指名することはあるのか。

基金：航空会社に拠るものと思われる。

委員：今後、このような輸送条件が厳しい地域で事業を実施しなければならない場

合はどうするのか。

基金：現地で陸送を取り仕切るカウンターパートがいれば、船便プラス陸送も選択肢に入るので、心強いだらう。

ウ. 「シンガポール・リバーナイト・フェスティバル能楽公演」に係る映像制作業務委託契約

基金：本件は、シンガポールでの能楽公演用の、背景に上映する3D映像の制作業務委託契約で、報道記事の通り、観客は能面をイメージした3Dメガネをかけて鑑賞し、好評を博した。

予定価格と契約金額の差が大きいのは、現地日系企業のスポンサーシップ協力並びに相手方が自社の機材を活用する等して、契約金額が抑えられたためである。

委員：スポンサーはどのように獲得するのか。予め協賛金を得られることが分かれば、予定価格に反映できるだろう。

基金：基金側からの声掛けで、ロゴを付すことを条件に協力いただいたが、前もって確定していたものではない。

委員：本件は映像制作業務委託契約だが、能の演者との契約は別か。

基金：公演契約は別途、観世文庫と締結している。本件は、企画・監修者及び総合演出家との協議を受け、能の世界観を分かり易く表現する背景映像の制作業務に係るものである。

委員：観世文庫を選んだ理由は何か。能の流派は複数ある。公共調達の公平性という観点から、基金側で作成した仕様書を基に、企画競争を実施し、一番良い企画を選択する方法もあるのではないか。公共調達の視点からは、選定プロセスが重要。好評を博した、との報道を目にした他の流派から、何故自分達に派遣の声掛けをしないのか、と照会を受ける可能性もあるだろう。

基金：能のような伝統芸能の面白さ、奥深さを海外で伝えることは難しく、海外での公演を知悉している基金が、監修者や演出家と相談しながらよりよい公演を作り上げている。本件も伝統的な能と、3D映像というハイテクを組み合わせ、日本の多様性を紹介する側面を有する。他方、こうした海外公演時の新たな試みに、違和感を覚える伝統芸能の方がいることも承知しており、バランスを取って、また、特定の流派に派遣依頼が片寄らないように留意しながら事業を実施している。企画者、監修者を選んだ時点で、演出家や委託先が連鎖的に決まる傾向がある点は否めない。今回は能楽研究の第一人者に企画・監修を依頼した次第である。

委員：伝統芸能について、慎重な扱いに努められていることは重々承知している。ただ、公共調達の適正化という観点からは、企画者選定の段階から、その適

正・妥当性等を含めた経緯を説明できるようにしておくことが必要であると思う。

エ. 平成28・29年度日本語能力試験聴解CD及びカセットテープ作成業務委託契約 (平成29年第2回本試験分)

基金：本件は、日本語能力試験の聴解問題用音声の収録・編集及びCD・テープを作成する業務である。抽出理由の前回契約からの差については、契約業務・期間の区分の違いにより、契約金額に差が生じており、本件の方が、業務量が多い分、予定価格が増加した。また、落札率については、積算根拠をより精緻にしたところ、高くなった。

委員：前回契約と本件を比べ、契約金額の増額に比べて、予定価格の増額分が小さいのは何故か。

基金：前回と今回とでは、業務量だけでなく、CD複製業務の有無など、業務仕様が異なるためである。

委員：入札参加者3者のうち、2者が事前審査で不適合となっている理由は何か。

基金：日本語能力試験は大規模一斉テストであることから、本件の参加資格として、マスターCD・テープの作成条件だけでなく、大規模テストのリスニング試験問題の受託実績等を条件としたためである。

オ. 「リードアジア2016」に係る共催契約

基金：相手方は日中交流に関わる主要な9つの学生団体が加盟する連盟で、このような複数団体を束ねる組織は唯一無二。日中の学生が10日間程の合宿生活を送りながら、企業訪問、ワークショップを行う。予定価格は公的な施設の金額を基に作成したが、昨年度も今年度も、幸い非常に安価な国立オリンピック記念青少年総合センターを確保することができたため、30%台の低入札率となった。また、今年度は参加者数が10名増え、母数が増えたために、更に割合が下がった。

委員：オリンピックセンターの予約は難しいのか。

基金：毎年オリンピックセンターを確保できる保証はない。

委員：基金は海外旅行保険料を負担しているのか。

基金：中国本土から訪日した学生には、海外旅行傷害保険料実費を支給し、日本留学中の中国人学生には、国内旅行保険を付保している。

委員：合意書に記載の金額は少ないが、全体の予算規模、費用分担は如何か。訪問先の企業から協賛金を受けたりしないのか。

基金：基金から相手方への共催分担金支払いの他、参加者の航空券・保険料等を現物支給しており、全体費用のうち、約3分の2を基金が負担している。なお、

参加者からも参加費を徴収している。企業からの協賛金、寄付金はなく、学生の受入を依頼しているのみである。

カ. テレビ番組『まじっく快斗1412』及び『犬夜叉完結編』西語音声版の海外テレビ局への提供に係る契約

基金：放送コンテンツ紹介事業の一環として実施。テレビ局等コンテンツホルダーへの公募を経て、提供可能な番組を、外部の有識者に評価、選考してもらい、海外へ紹介するに相応しいコンテンツリストの中から、在外公館・基金海外拠点を通じ、現地海外テレビ局の放送希望を聴取。

本件アニメ2作品は中南米5か国からスペイン語版の放送希望を受け、放送権を有している読賣テレビと随意契約を締結。

通常、他作品の契約は、放送権料・素材複製費と外国語版作成費がセットになっているが、本件は先方からの要請を受け、放送権料のみ読賣テレビ、素材複製費と外国語版作成費については読売テレビエンタープライズと、分けて契約している。うち、放送権料については、市場価格が存在しないため、相手方と協議の上、合意した価格を予定価格としており、落札率が100%となる。

委員：海外での放送はコンテンツホルダーにとってメリットになるのではないか。放送権料は相場があるのか。

基金：作品の商業的な価値や、著作権保持者の考え方によって異なる。基金側で外国語版作成費を負担する作品については、海外での作品紹介の好機となることから、放送権料の割引を各コンテンツホルダーに打診、交渉し、承諾いただいている。

委員：それぞれの審議案件につき、議論内容を踏まえ、今後も適切な契約に留意して進めていただきたい。

以上

平成 28 年度第 2 回契約監視委員会 抽出案件一覧

	契約名称	契約の相手方	契約方法	契約金額	担当部署
1	平成 27 年度「専門日本語研修（外交官・公務員）」に係る国際航空券手配及び接遇業務委託契約（平成 28 年度分接遇業務）	株式会社日本旅行	総合評価	2,886,823 円	関西国際センター 教育事業チーム
2	平成 28 年度中央アジア大型文化事業「ウズベキスタン和太鼓公演」国際輸送契約	株式会社日新	随意契約	15,521,044 円	文化事業部 事業第 2 チーム
3	「シンガポール・リバーナイト・フェスティバル能楽公演」に係る映像制作業務委託契約	株式会社 NEGA	随意契約	9,325,800 円	文化事業部 事業第 1 チーム
4	平成 28・29 年度日本語能力試験聴解 CD 及びカセットテープ作成業務委託契約（平成 29 年第 2 回本試験分）	株式会社サウンドマン	総合評価	9,536,655 円	日本語試験センター 試験制作チーム
5	「リードアジア 2016」に係る共催契約	日中学生交流連盟 リードアジア	随意契約	1,423,400 円	日中交流センター
6	テレビ番組「まじっく快斗 1412」及び「犬夜叉 完結編」西語音声版の海外テレビ局への提供に係る契約	讀賣テレビ放送株式会社	随意契約	13,500,000 円	映像事業部 テレビ放送チーム